

生涯教育研修会報告書

血液研究班（事業部・学術部）

学発番号 11-048

平成 23 年 11 月 21 日

報告者

所属 京都大学医学部附属病院

氏名 中西 加代子

連絡先 075-751-3484

会員番号 264668-0394

行事名：血液講演会

日時：平成 23 年 11 月 12 日土曜日 14：00～17：00

会場：キャンパスプラザ京都

講演 1：Case study 13

講師 1：由木 洋一（京都府立医科大学附属病院）

講演 2：血液形態検査標準化の現状と課題

講師 2：久保田 浩（大阪市立大学医学部附属病院）

分類：専門－検体検査－20

全体参加人数：34 人

会員参加人数：26 人

京臨技会員参加人数：2 人

以下、講演内容など

Case study 13 では、京都府立医科大学附属病院の由木 洋一氏により、VK 欠乏症の症例が提示された。PT、APTT の結果と患者背景より凝固検査異常の原因を推察し、適切な追加検査より VK 欠乏症が確定された症例であった。日常のルーチン検査結果の注意深い観察と、結果の原因を洞察する知識が的確な診断には大切であると思われた。

大阪市立大学医学部附属病院の久保田 浩先生には、血液形態検査標準化の現状と課題として、細胞 1 つ 1 つの標準化案を丁寧に解説して頂いた。形態の標準化は分類する人の主観が入り大変難しいが、大変重要な課題である。きちんと基準を決めることにより、標準化が実現されると思われた。大変勉強になり、とても有意義な講演会であった。

共催：アボットジャパン株式会社